

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

あ い
アブラハムの愛をた
か み
めされた神さま



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Byron Unger; Lazarus

かいさくしゃ
改作者: M. Maillot; Tammy S.

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅつばんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、
また きよか
又はプリントは、許可されています。





よる
ある夜の事です。
かみ
神さまは、アブラハ
へん
ムにとっても変なめい
れいをされましたよ。





それはね、アブラハ

かみ

ムが、神さまよりもっ

かれ

ほう

と彼のむすこイサクの方

あい

を愛しているのかどうかを、

ためすことでした。



「あなたのむすこ、イサクをつれて行きなさい。

そしてイサクを焼^やいて、
いけにえとしてささ

げなさい。」神^{かみ}さまは、
このようにめいれい
されたのです。えっ？



イサクをささげるって？かれのむすこを、いけにえにするって？それは、アブラハムにとって、

ほんとう

本当につらいことでした。アブラハムは、

じぶん

自分のむすこイサクを
あ
い
こころから愛していた
からです。



けれども、アブラハムは、

かみ

い

神さまの言われることが、
たとえよくわからなか

かみ しん

ったとしても、ただ神を信じるこ

とをよくしっ

ていました。



あさ

朝のうちに、いけにえの

ふたり わかもの

イサクをつれ、二人の若者

やま で

といっしょに、山へ出かけてい

きました。



で まえ や
出かける前、アブラハムは、焼いていけにえをささげ

ひ
るための火をおこすたき

ようい
ぎを、用意しました。

かみ
アブラハムは、ただ神さまにしたがうしか

おも
ないと思いました。



みっか

やま ちか

三日たって、さあ、山に近づいてきましたよ。「ここにいなさい。」アブラハムは、

わかもの

い

若者たちに言いました。

「わたしたちは、

い

むこうへ行って

れいはい

礼拝します。



ここにまたもどってき
ますからね。」イサクは、
たきぎをはこびました。
アブラハムは、

ひ かたな
火と刀をも
ちました。



とう や
「ねえ、お父さん、焼いていけにえ
ひつじ
にする羊は、いったいどこに
いるの？」イサクはききました。



かみ

ひっじ

「神さまが、ちゃんとじぶんで羊
をよういしてくださっているん
だよ。」アブラハムがこた
えました。



ふたり かみ

二人は、神さまがちょうどえらばれたところへ、やってきました。そこで、

アブラハムは祭^{さい}だんをきずき、
神さまの^{かみ}前^{まえ}にささげるいけにえ
^もを燃^もやす

ためのたきぎをくみたてました。



アブラハムは、いままでたくさんの祭だんさいをきずいてきました。でもきっと、

この祭だんさいづくりほど、
くる
苦しいものものはなかった
でしょう。



アブラハムは、かわいいかわいいむすこイサクをしば
りあげ、^{さい}祭壇の上においたのです。アブラハム
は、ほんとうに^{かみ}神さまの^い言われる
とおり、^{こころ}心から^{あい}愛するたった
^{ひとり}一人のむすこを、

いけにえにする
つもりだったの
でしょうか？





そうです。
アブラハムが、
たか
ナイフを高くふりあげ
は
たとき、ナイフの刃が、
ひか
キラキラ光っていました。
しん
アブラハムの心ぞうは、
かな
悲しみでいまにもはり
さけそうでした。





しかし、
アブラハムは、
かみ
神さまにしたがわ
なければならぬと、
はっきりわかっていました。





「やめなさい。
しゅ
い。！」主のつか
いがさげびました。
「アブラハムよ、
いま、あなたが
しゅ
主をおそれて
いることが、
はっきりわ
かった。





あなたは、
じぶん
自分のむすこ、
ひとり
たった一人のかわ
いむすこさえ、
わたしのため
におしまな
かった。」



き ほう
ふと、木のしげみの方を見ると、
いっ ひっじ
一ぴきの羊がいるではありませんか。アブラハムは、
イサクのなわをほどき、...



ひっじ

...かわりに羊をいけにえに
しましたよ。たぶん、
おも
イサクは思ったでしょう。



かみ

「神さまは、ちゃんとなにもかも

ようい

用意していてくださるのだ。

とう

ちょうど、ぼくのお父さん

はな

が話してくれたように

ね」。



くに しゆくふく
...すべての国は、祝 福されるであろう。」

ひ
いつの日にか、アブラハムの
しそんから、イエスさまが、
う
お生まれになることで
しょう。



げんき いえ

こうして、アブラハムとイサクは、**元気**に**家**にもどっ

なんねん

かな

てきましたよ。それから**何年**かたって、とても**悲**

しいことがおこりました。



な
サラが亡くなってしまったのです。アブラハムは
つまを、そしてイサクはお母さんを亡くして
かあ な
しまいました。



サラのおそうしきのあ
と、アブラハムは、しも

ちょう

べの長にイサクのおよめさんになる

ひと

人を、さがしに行かせ

い

ました。



そのしもべは、アブラ
なか
ハムのしんせきの中から、
イサクのおよめさんをさが

う
そうと、アブラハムの生まれたところへでかけました。



かみ

しもべは、「神さま、

み

どうぞしるしを見せてください。」

い

といのり、またこう言いました。



みず

おんな

「わたしのつれてきているラクダにも水をくださる女の人
ひと
人が、イサクのちょうどぴったりのおよめさんになりますように。」



すると、どうでしょう。しもべが、

いの

こう祈りおわらないうちに、リベカがやってきて、

みず

はじ

ラクダたちに水をくんでやり始めたではありませんか。



ひとり

リベカは、アブラハムのしんせきの一人でした。

かみ 神さまは、しもべのいの祈りをきいてくださり、
こたえてくださったのですね。



とう
リベカは、イサクとけっこんするため、お父さ
かあ
んやお母さんのもとを、はなれました。



そしてかのじよは、イサクのお^{かあ}母さんが^な亡くなったあと、イサクをやさしくなぐさめてあげました。
イサクは、

リベカ
だいす
が**大好き**
でしたよ。



あい かみ
アブラハムの愛をためされた神さま

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 22 章 -24 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに
かみ かみ
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを
おも
しってほしいと、思っています。

かみ わたし
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい
かみ つみ つみ
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の
し かみ あい
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい
ひとり こ よ おく
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って
つみ じゅうじかじょう な
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ
てんごく
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい
しん
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください
いま ところ き なか
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に
す い
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

